

平成24年度 おおばこの会 活動報告「小川の生き物調査隊」

おおばこの会 参加メンバー

小林賢二・岡崎聡郎・小田昌代・小林爽子・高田 要・田中愛子・東一文代・西尾勝彦・
西田 猛・藤本國雄・古田洋理・前谷順子・松永恵子・山田 登・山本英夫・吉田士郎

はじめに

私たち「おおばこの会」は、地域の子どもたちに、四季を通して自然に親しむなかで動植物の生命の営みの巧みさを体験してもらうため、観察会やサポート活動に取り組んでいます。今年度の主な活動は、小野アルプスでの自然観察会、小川の生き物調査隊、鳴く虫観察会、貴石探し、野鳥観察会、小学校の環境学習サポートなどです。これらの活動の中から、7月に行なった「小川の生き物調査隊」の概要を紹介して今年度の活動報告といたします。

「小川の生き物調査隊」の活動概要

日 時：平成24年7月21日(土) 10:00~12:00

参加者：小学生21名(2年生:1名、3年生:2名、4年生;9名、5年生;8名、6年生;1名)・保護者数名

場 所：小野市下来住町 前谷川

内 容：小川の中にどんな生き物がいるかな？

(川の中の調査)

珍しい生き物はいたかな？(捕まえた生き物の発表)

外来種(小川周辺の動植物)の話~人と自然の博物館 小館誓治先生

*安全のための行動ルールについて説明

*小川の環境破壊に繋がる行動ルールについて説明

前日：小川の安全確認・周辺清掃、仕掛け(モンドリなど)を準備

*参加者へのアンケートを実施



生き物調査結果および参加者アンケートから

今回の生き物調査では、捕れた魚の種類が少なかった。捕れた主な生き物~アメリカザリガニ、タニシ、カワニナ、ヤゴ、ドジョウ、テナガエビ、ヌマエビ、ドンコ、ドジョウ、カワムツなど。(昨年度は、ヨシノボリ、ヌマムツ、フナ、アブラボテ、スジエビなども捕れた。)

アンケート結果からみると、もっと沢山の魚が捕れることを期待して参加した子どもたちにとっては、ザリガニやヤゴ、タニシ等ばかりで期待はずれのようなようでした。一見生き物が見当たらない小さな小川の中にもいろんな生き物が生息していることに驚き、また嬉々として濡れることさえ楽しんでいる姿を見ると、我々メンバーも報われた気持ちになりました。



おわりに

たくさんの魚や生き物を捕まえたいと願う子どもたちの期待に応えるためにも、多くの生き物が住める環境が一日も早く回復することを願って止みません。我々も今後の活動に、それぞれの立場で頑張っ参ります。